

知の市場

金融特論2

～金融業務を通じて、リスクと リターンの正体を探る～

開講機関：三菱UFJトラストビジネス株式会社

連携機関：三菱UFJトラストビジネス株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社

2012年1月30日

開講機関のご紹介

三菱UFJトラストビジネス株式会社

- 本社：
 - 〒107-0061 東京都港区北青山1-5-4
三菱UFJ信託銀行新青山ビル5階
- 代表者：取締役社長 城戸 一彰
- 設立：昭和50年4月1日
- 資本金：100百万円
- 株主：三菱UFJ信託銀行（全額出資）
- 事業内容：
 - 事務代行
 - 人材派遣
 - 有料職業紹介
- 社名：三菱UFJトラストビジネス株式会社
Mitsubishi UFJTrust Business Co.,Ltd
- 事業所：
 - 関東...青山(本社)、中野、丸の内、晴海、千葉
 - 関西...淀屋橋
- 従業員：約2,200名



連携機関のご紹介

三菱信託銀行

- 本社：
 - 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
- 代表者:取締役社長 岡内 欣也
- 資本金:3243億円
- 事業内容:
 - 信託業務
 - 銀行業務
 - 不動産業務
 - 証券代行業務
- 社名:三菱UFJ信託銀行株式会社
Mitsubishi UFJ Trust and Banking Corporation
- 拠点数:
 - 国内 64(本支店59、出張所5)
 - 海外 6(支店5、駐在員事務所1)
- 従業員:約11,000名



教育活動の趣旨

- 信託銀行は金融にとどまらず様々な分野を手がけており、業界においてユニークな地位を占めている。
- 当社にはそうしたさまざまな分野の経験者が信託銀行からの出向、転籍という形で在籍。
- こうした経験者を中心に、信託銀行がその業務を通じて果たしている金融の役割について、一般の受講者に理解してもらう機会を提供したい。
- 上記趣旨に賛同して集まった社内外の講師によって一連の講義を組成。

2012年度開講内容及び目標

- 2012年度は第2回目の開講となるが、開講機関が三菱UFJトラストビジネスとなり、三菱UFJ信託銀行との共催となった。また、講義場所も早稲田大学の西早稲田キャンパスに移し、受講生の対象拡大を図っている。
- 講義内容については一部の科目、講師を入れ替えたものの大きな変化はなく、以下の3分野を採り上げている。
 - ①市場運用に関する分野(5講義)
 - ②金融と危機管理に関する分野(4講義)
 - ③社会的ニーズの広がりに関する分野(5講義)
 - 以上に加えて最後にまとめを行い、合計15講義とした。
- 講師はそれぞれのテーマにおける経験者13人。
- 色々な分野において金融が担う役割を、実務に基づいた観点から受講者の理解を深めることを目標とし、その上で社会・企業と銀行、特に一般にわかりにくい信託業務もテーマに含めて、金融の関わり方を受講者とともに考えて行きたい。

講師ご紹介(五十音順・敬称略)

氏名	所属機関	氏名	所属機関
臼木 孝	ゆうちょ銀行 香港駐在員事務所長	千田 文彦	三菱UFJトラストビジネス 常務取締役
浦野 京子	三菱UFJモルガン・スタンレー証券 グループ業務運営部部長代理	堤 智章	キーストーン・パートナーズ 代表取締役
大石 真輔	三菱UFJモルガン・スタンレー証券 グループ業務運営部部長代理	中村 裕一	三菱UFJモルガン・スタンレー証券 常勤監査役
岡田 康	三菱UFJトラストビジネス 代表取締役会長	宮崎 敬	エム・ユー・トラスト・アップル・プランニング 常務取締役
橘田 万里恵	三菱UFJ信託銀行 不動産コンサルティング部副部長	吉田 茂生	キーストーン・パートナーズ 代表取締役会長
斎藤 聖美	ジェイ・ボンド東短証券 代表取締役社長	渡辺 俊之	三菱UFJトラストビジネス 監査役
代田 秀雄	三菱UFJ投信 商品企画部長		

抱負・課題

- リーマンショック後の金融不況の中で、金融機関はまだ将来への方向性を見出せていない中、昨年はユーロ圏の債務危機が悪化し、更なる影響を受けている。
- 2011年度の講義においては、銀行が社会に役立っているのかという原点に還ってその存在意義を見直し、金融機関本来の業務である預貸業務だけでなく、証券、資産運用、年金、不動産、相続など幅広い分野に携わる講師の目を通して金融を色々な角度から分析し、その果たすべき役割を探った。
- 講義全般にわたり受講生は熱心に取り組み、また各講師も自由な立場から現場の生の声を交えた具体的内容を探り上げることに奏功し、双方に有意義な講義運営ができたものと自負している。
- 2012年度は、開講機関が代わり、一部の講義が発展的に解消、講師も入れ替りがあるものの、基本的な考え方に変更はない。引き続き金融機関が本来あるべき姿を受講生とともに考えていける講座としたい。